



イマジン  
ロータリー

国際ロータリー第2610地区  
南砺ロータリークラブ

# クラブ会報 **なんと**



NO. 2577

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 53-1334

写真撮影

写真同好会

山田清志会員



「山羊のいる風景」

## 第2638回例会 令和4年11月22日(火)晴れ16℃

◆点 鐘 12:30 古瀬喜八郎会長

◆司 会 谷村修基SAA

◆ソング 「我等の生業」

◆会長の時間 古瀬喜八郎会長

朝晩、寒くなってきました。お身体には充分気をつけてお過ごしください。今日の会報に、山田清志さんの、「熊肉の料理」が載っていますが、ジビエ料理というのかな？温まりそうですね。どこで、やっているのかな？

前から案内しておりますが**12/7(水)に例会日変更**して、例会後、福野高校に於いて、「繋げよう未来へ」南砺ロータリークラブ55周年事業「**米山奨学生とインターアクトクラブメンバーの交流会**」を行います。時間の都合つく方は是非ともご参集ください。

### ・自然の営み

「ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川 からくれなるに 水くくるとは」と在原業平の歌に詠まれるように、山野が色づく季節となりました。日本の紅葉は諸外国に比べ、広葉樹の種類豊富さや寒暖の差などの影響により、色鮮やかに染まります。奈良時代に編纂された『万葉集』にも紅葉をモチーフとした歌があり、昔から親しまれ、現代でも紅葉狩りなどが行なわれています。

自然との触れ合いについて、昨今では多くの教育の場で生きる力や感性を育むため、体験学習が取り入れられるようになっていきます。

自然に親しむ環境は身近にあるものです。自宅で植物を育てる、爽やかな風を感じながら散歩する、銀杏や金木犀などの香りを楽しむなど、自然の営みは私たちの傍にあるものであり、そこに意識を向けることが大切です。

時代の流れも急速に変わり、何かと忙しい昨今ですが、通勤や通学の移動の際や休日には変わりゆく自然の営みに目を移し、その美しさに触れると共に変化の中に生きている今を楽しみたいものです。

今日の心がけ◆自然に目を向け楽しみましょう。

### ◆幹事報告 石崎和三幹事

- ①G事務所より、「コーディネーターニュース12月号」の送付案内。公共イメージの向上させる戦略は全会員の協力が欠かせない。
- ②・高岡万葉RC…12/2(金)通常例会。12/9(金)通常例会。12/16(金)通常例会。12/23(金)忘年例会。※メーク受付有。
- 1/6(金)新年例会。1/13(金)通常例会。1/20(金)通常例会。1月27(金)職場例会。時間と場所変更 ※メーク受付有。
- ・氷見RC…12/8(木)年忘れ例会。※メーク受付有。
- 12/22(木)例会取消。12/29(木)例会取消。

クラブHPへ



### ◆55周年記念事業の案内

- 12/6(火)の第2640回例会を**12/7(水)に例会日変更**。理事会11:45《富山銀行例会場にて》11:30から食事。
- ・12:00例会点鐘→12:30終了→南砺福野高校「東雲ホール」へ各自で移動。《南砺RC55周年記念事業…米山奨学生とインターアクトクラブ員の交流会》会場には是非お集まりください。



\*井沢正生会員 在籍30年表彰!

- ・入 会： h 4.6.23 (30年)
- ・誕生日： s 12.12.8 (84才)
- ・事業所：(有)いざわ保険 代表取締役
- ・南砺RC 第39代会長

### ★ニコニコボックス 11/22 谷村賢治委員長

- 古瀬君 今日はいい夫婦の日です。皆様今夜の食事は豪華に。水口さん卓話宜しくお願いします。
- 石崎和君 水口さんの卓話楽しみです。よろしく!
- 武田君 皆様方に育てていただきました長男がようやく入籍することができました。ありがとうございます。いい夫婦の日、石崎和三先輩のような家庭を築いてくれることを願います。
- 湯浅君 長い間休んでいました。申し訳ないです。新しい人生のスタートを祈っております。有難うございます。合掌
- 荒井君 「小雪」という事ですが割合あたたかです。
- 松本君 新しく開通した304号線、武田県議のお陰と思い、スイスイと通過いたしました。
- 尾山君 冬タイヤへの交換時期が来ました。ポチポチタイヤ交換に来店されています。
- 井沢君 チョットいいことがありました。
- 榊 君 結婚記念日祝有難うございます。今晚早速戴きます。
- 中田君 水口さん卓話楽しみです。コロナがまた増えてきました。連日発熱外来で陽性者が出ています。皆様お体ご自愛ください。
- 木勢君、牧君/水口会員の卓話楽しみです。
- 谷村賢君 今日はいい夫婦の日です。残念ながら別居しております。娘がコロナなもので…(汗) すみません早退します。
- 船藤君 本日都合により早退します。

### 本日のプログラム 11月29日(火) 第2639回例会 卓 話

担当 榊 祐人会員

### ◆出席報告 木村伊徳副委員長

会員数	11月22日出席率	11月8日(修正)
45 (免除2)	75.00% (出32)	86.05% (出37 内メーク4)

メークアップ:澤田喜朗君、中田裕二君、湯浅勇貴君、野村守君

### 次回の予定 12月7日(水) 第2640回例会 例会12:00~12:30後移動 福野高「東雲ホール」にて《55周年記念事業》米山奨学生とIA生との交流会 担当 片山浩一委員長



◆松村謙三先生ゆかりの地を訪ねて



10月19日、松村謙三先生ゆかりの地巡りの研修に参加させていただきました。まず最初に訪れたのは、一般社団法人 櫻田會。櫻田會は、昭和9年(1934年)12月、時の2大政党の一つである立憲民政党の政務調査館を譲り受け、党とは独立の財団法人として「社会の公益増進のため政治に関する調査研究を行う」目的をもって時の総裁 町田忠治の主唱により幹事長 大麻唯男、政務調査会長 松村謙三等が中心となり設立されました。

その後、時流が軍国主義に傾き、昭和15(1940)年8月に解党せざるを得なくなり、これに伴い政務調査館や櫻田會も休眠状態となりましたが、戦後の混乱期を経て、かつての立憲民政党有志を中心に財団所有地を我が国政治の発展に活用する機運が高まりました。昭和38(1963)年、松村謙三が財団理事長に就任し、昭和42(1967)年、財団所有地に東京桜田ビルを建設、その運用果実をもって政治の発展に貢献することになります。

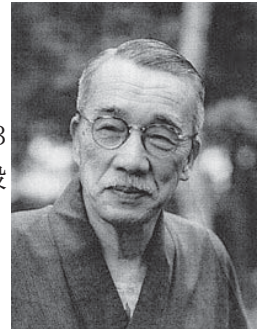
現在は、不偏不党の立場で、櫻田會設立の理念を継承し、政治に関する調査研究を中心とする諸活動を助成・援助することにより社会の公益増進に寄与すべく、公益事業を実施しています。

また、櫻田會賞を設け、政治学領域(政治学、政治思想、政治史、国際政治学、比較政治、政治制度、行政学およびこれらに直接関連ある諸部門を含む)における研究業績で前年度内に於いて優秀と認められるものに対し、これを表彰し、昭和58(1983)年より毎年、櫻田會賞・特別功労賞・奨励賞などを授与しています。

松村謙三関連団体への助成も行っており、令和3年10月には、松村謙三没後50周年記念事業に伴う調査・研究事業への支援として200万円を南砺市に助成しています。

現理事長は、松村謙三先生の孫、増田三千代さんの伴侶である増田勝彦さんがその任を担っています。

その後、文京区にある護国寺でお墓参りをさせていただき、松村精神に心が触れた、そんな思いを胸にホテルに到着いたしました。



◆棟方サミットin倉敷

去る10月29日(日)、岡山県倉敷市で棟方志功サミットが開催されました。棟方志功サミットとは、棟方志功ゆかりの5都市である、青森県青森市(誕生の地)、東京都中野区(上京後に居を構え、板画家として飛躍を遂げた地)、富山県南砺市(疎開先であり成熟の地)、東京都杉並区(南砺から帰京後亡くなるまで居を構えた地)岡山県倉敷市(信頼を寄せる大原總一郎氏の暮らす地で、大原家の襖絵や倉敷国際ホテルの板壁画などを手掛けた)が、互いに情報を共有し密に連携することを目的に、一堂に会するイベントです。これまでに青森市、中野区、南砺市、杉並区の順で開催され、今年倉敷市で一巡したことになります。

第一部では、大原美術館名誉館長・大原謙一郎様と、棟方志功令孫・石井頼子様とのトークセッションが行われました。テーマは「倉敷で棟方を想う。」大原様のお話では、棟方にとって倉敷の地は、静かで心やすらぐ場所だったようです。その根拠となる作品をスライドで示しながらご説明され、また大原様が挙げた作品について石井様が解説を加えながらのトークでした。

第二部では、青森市、中野区、南砺市、杉並区、倉敷市の各首長による、棟方志功の遺した文化芸術資源を活かしたまちづくりをするためどのような取り組みを行っているのか、プレゼンがありました。青森市長は、ねぶたアートを街中で展開する取り組みや、版画教育に力を入れていることなどを発表されました。そして、「来年は青森市で棟方志功サミットを開催します!」と力強く宣言されました。



最後に、倉敷市長が代表して「我々5都市はこれからも棟方志功の遺した文化芸術資源を活かしたまちづくりを推進し、観光・教育・地域の活性化に取り組みます」という内容の共同宣言を読み上げ、閉会となりました。

来年は、青森市で二巡目の開催となります。

また、青森でお会いしましょう。

(今回の会報担当: 水口秀治)

